

事 務 連 絡
令和7年5月19日

各都道府県・指定都市教育委員会担当課
各都道府県私立学校主管課
各国公立高等専門学校担当課 御中
附属学校を置く各国公立大学法人担当課
構造改革特別区域法第12条第1項の認定を受けた
各地方公共団体の学校設置会社担当課

文部科学省総合教育政策局国際教育課

「アジア高校生架け橋プロジェクト+」国際交流キャンプ参加者募集について（周知）

日頃より、高校生の国際交流に関し御尽力賜りまして、厚く御礼申し上げます。

文部科学省補助事業「アジア高校生架け橋プロジェクト+」は、アジア諸国を中心として日本語を学ぶ優秀な高校生を日本全国の高等学校に招聘し、日本人高校生との国際交流を深めることを目的としており、公益財団法人 AFS 日本協会が事業の受託者として実施しております。

平成 30(2018)年度から実施をしておりました「アジア高校生架け橋プロジェクト」を含め、これまでに 1,132 名が 47 都道府県に滞在いたしました。受入れに御協力いただきました皆様、また、受入れについて御検討くださいました皆様に深く感謝いたします。

今年度においても 8 月から 12 月までの 5 か月程度、100 名を受け入れる予定ですが、より効果的に国際交流体験を推進するため、招聘した留学生と日本人高校生が参加する「国際交流キャンプ」を 12 月に実施予定です。

我が国の高校生にとって、国内に居ながらにして国際交流を深めることができる貴重な機会となりますので、本件について、各都道府県教育委員会におかれては所管の高等学校、中等教育学校、特別支援学校高等部、専修学校高等課程（以下、高等学校等）及び域内の市区町村教育委員会に対して、各指定都市教育委員会におかれては所管の高等学校等に対して、各都道府県私立学校主管課及び高等学校を設置する各学校設置会社の学校担当におかれては所轄の高等学校等に対して、各国公立大学法人におかれては附属の高等学校等に対して、それぞれ周知されるようお願いいたします。

なお、学校における働き方改革の観点から、周知の範囲及び方法については、全ての学校に一律に通知する以外にも、例えば、他の案件とまとめて周知する、教育委員会主催の教員研修の場で配布する等、必要に応じて御判断いただきますよう、お願い申し上げます。

公益財団法人 AFS 日本協会 担当：中村（ナカムラ）、水本（ミズモト）

E-mail：asiakakehashi@afs.or.jp

電 話：中村（090-8462-6396）、水本（080-4680-2935）

ホームページ：<https://www.afs.or.jp/about-afs/programs-jutaku/asia-kakehashi-project/>



本事務連絡に関するお問い合わせ先

文部科学省総合教育政策局国際教育課 杉本、大野

電 話：03-6734-3487

令和7年5月吉日

各高等学校御担当者 様
各中等教育学校後期課程御担当者 様
各特別支援学校高等部御担当者 様
各高等専門学校（1～3年次）御担当者 様
各専修学校高等課程御担当者 様

公益財団法人AFS日本協会

「アジア高校生架け橋プロジェクト+」国際交流キャンプ参加者募集について（依頼）

平素より、文部科学省補助事業「アジア高校生架け橋プロジェクト+」に御協力を賜り感謝申し上げます。

本事業は、アジア諸国を中心として日本語を学ぶ優秀な高校生を日本全国の高等学校に招聘し、日本人高校生との交際交流を深めることを目的として、文部科学省から委託を受け実施をしています。

今年度は8月から12月までの5か月程度、100名を受け入れる予定ですが、招聘した留学生と日本人高校生が交流を深める「国際交流キャンプ」を12月に実施いたします。

つきましては、下記のとおり参加者を募集しますので、御協力のほどよろしくお願い申し上げます。

なお、応募につきましては、各学校から1名とさせていただきます。日頃生徒に接していただいている先生方の視点での推薦をいただくことが重要と考えておりますことから、お手数ですがよろしくお願いします。

詳細については、添付の応募要項を御覧いただき、不明な点がございましたら、下記問い合わせ先までお問い合わせください。

記

募集人数：約20名

募集締切：令和7年6月30日

応募条件：応募要項のとおり

応募方法：推薦いただける生徒1名に、応募要項記載の応募フォームのリンクを御案内ください。

（問い合わせ先）

公益財団法人AFS日本協会

担当：中村、水本

E-mail: asiakakehashi@afs.or.jp

【本要綱は推薦いただける生徒1名のみにお渡しいただきますようお願いいたします】

**令和7年度 文部科学省補助事業アジア高校生架け橋プロジェクト＋
国際交流キャンプ参加 日本人高校生
応募要項**

1 目的

日本の歴史、文化や経済、地球温暖化や国際関係などについて、当該事業で来日、日本で約5か月間の滞在を終える100人の留学生と日本人の高校生が共に特定のテーマについて議論を深め、世界で解決しなければならない答えのない紛争や地球温暖化問題を議論する。加えて、本国際交流キャンプを通して、留学生と日本の高校生が互いに架け橋となり、地球上で起きている課題を解決するような次世代を担うリーダーになるように育成することをめざす。

2 実施時期・場所

▽時期: 2025年12月13日(土)～12月16日(火)3泊4日(予定)

* 現地集合・解散

▽実施場所(宿泊場所): L stay and Grow 晴海 [アクセス | 東京のホテル 宿泊研修施設・合宿【公式】L stay & grow 晴海](#)

(注) 日程は前後する可能性があります。

(注) 公益財団法人 AFS 日本協会(以下、AFS)が実施します。

3 プログラム内容

(1) オリエンテーション(12月13日午後 実施会場集合)

(2) 国際交流キャンプ(12月14日)

(3) 成果発表(12月15日)

* 14日、15日の詳細スケジュールについては、選考後通知予定

(4) 解散(12月16日午前)

(注) 事情によりプログラム内容は変更される可能性があります。

(注) 全てグループ行動となり、単独の自由行動の時間は基本的にはございません。

(注) 語学研修プログラムではございません。

4 募集人数

約20名

* 参加留学生: 中国、韓国、モンゴル、タイ、カンボジア、ラオス、ベトナム、マレーシア、フィリピン、インドネシア、東ティモール、スリランカ、インド、ネパール、パキスタン、ブータン、バングラデシュ、トルコ、アメリカ、イギリス、イタリア、カナダ、フランス、ドイツ 計100名

5 使用言語

英語及び日本語

6 募集・選考

応募条件: 本応募要項に記載の本事業の趣旨を理解し、本事業へ参加できる高校生を対象とします。

(1) 日本国籍を有する者

(2) 参加時に、正規課程に在籍する高校生であること(注1)

- (3)心身ともに健康であること(注 2)
- (4)国際交流キャンプの目的を理解し、英語または日本語でプレゼンテーションを行うことができること
- (5)国際交流に興味・関心があり、学ぶ意欲があり、積極的に交流し、コミュニケーションをとることができること
- (6)規律ある団体行動ができること、国際交流キャンプ実施中の規定のルール(自由行動不可、無断外出禁止等)に従うことができること
- (7)「本プログラム参加における責任範囲」(以下 7)に同意すること

(注 1)事前学習・準備・事後活動を参加者間で行うことも想定されることから、留学中・留学等の予定がない方が望ましい。

(注 2)本プログラムは集団行動であり、予定されたプログラムスケジュールにも耐えうる体力や精神力を要するため、既往症または慢性疾患、怪我の治療中や妊娠中等の場合は原則として参加は認められません。

プログラム費用: 自宅から実施会場までの往復交通費及び実施期間中の食費・宿泊費は主催者で負担いたします。ただし、以下の費用については、参加者の負担となります。

前泊/後泊が必要となる場合の宿泊費、ホテル宿泊時に発生する宿泊費以外の個人的経費、電話、ミニバー、クリーニング等、私的な買い物の費用、参加者が任意で加入する保険料や予防接種料等、参加決定後の自己都合によるキャンセルで発生する費用、本事業負担に含まれない費用

応募方法: 所定のオンラインフォーム(以下リンク)に必要情報および課題等を入力、送信ください。(一度送信ボタンを押されたら、その後の入力編集・修正はできません。)

エントリーフォーム

<https://forms.gle/QPfuWC1gV6dvyw916>

応募締め切り:2025 年 6 月 30 日

選考終了後、可否結果についてご本人にメールにて連絡いたします。
(可否判定に係る個別のお問い合わせには、お答えできません)

今後の予定:

- 6 月 30 日: 募集締切(必着)
- 7 月中: 選考結果連絡
- 12 月 13 日～16 日: プログラム実施

7 本プログラム参加における責任範囲

(1) 現地事情等止むを得ない事由により、行程や宿泊先が変更となる場合があります。

* 国内交通手配、旅費精算については、一部、旅行会社が代行する予定のため、連絡先等を AFS より遂行にあたり共有いたします。

(2) 実施団体 (AFS) は、実施中、参加者の健康状態や行動等が不適切と判断した場合、プログラム参加を取り消し、帰宅を命じる場合があります。参加取り消しによって生じる費用は、当該者に請求する場合があります。

(3) 参加者自己都合による滞在期間の延長または途中参加は原則として認めませんが、それにより個人の費用負担が発生した場合や、第三者 (交通費、ホテル等宿泊施設及びレストランを含む) のいかなる行動または過失、並びに参加者に対する損害及び所持品に対して、AFS は一切の責任を負いません。

(4) プログラムは、安全な状況を確認・判断の上実施いたしますが、参加者各位も安全管理面に問題ないと判断し、本プログラムに参加頂くこととしておりますので、第一義的には安全管理の責任は参加者各位にあると考えております。万が一事故等が起きてしまった場合、現地へ関係者・保護者を派遣する等の対応については、参加者各位にお願いをいたします。AFS は、各種手配のお手伝い等、出来る限りの後方支援をいたします。

<お問い合わせ先>

公益財団法人 AFS 日本協会

アジア高校生架け橋プロジェクト+ 担当 中村 水本

Email: asiakakehashi@afs.or.jp